

III 警 防 編

1 消防力の現況（平成28年12月末日）

（1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		105	39	144
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	10	4	2	16
そ の 他 の 要 員	38	1	2	41
合 計	48	143	130	321

（2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	447	6	453

（3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐震性貯水槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	199	12			211
鉄 西	255	34			289
白 糠	126	43			169
阿 寒	87	13			100
阿 寒 湖 温 泉	24	8		1	33
音 別	22	26			48
愛 国	152	31			183
鉄 北	227	35			262
橋 北	120	46	1	1	168
橋 南	316	86	1	3	406
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,714	367	2	5	2,088

(2) 出動計画

市街地の防火対象物建ぺい率、構造、消防水利等を分析し、釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱で定めている。

ア 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	6台～7台	火災を覚知した時
第2出動	10台～12台	現場最高指揮者が消防隊の増強を認めた時
第3出動	18台～19台	現場最高指揮者が、火災の規模により第2出動では対応し難いと判断し、消防隊の増強を認めた時
特命出動	必要台数	災害状況に応じて現場最高指揮者が要請

イ 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)
特命出動 必要数

ウ 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

エ 非常災害時出動計画

地震・津波・風水害等の自然災害発生時、通常の消防体制では対応できない場合の計画を定め、消防部隊の増強を図る。

オ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の西港区域石油貯蔵施設は石油コンビナート等災害防止法により特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画に基づき、高所放水車及び化学車等を基本に消防部隊の増強を図る。

(3) 消防救助活動に対する民間協力体制

消防が有する装備と資機材では対応し難い災害への対策として、特殊資機材、重機等を有する民間企業が消防救助活動に協力する『釧路市救助協力会』を結成している。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 5部会 30事業所

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制

釧路市愛国191の1に『空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 8,000 m²、40m³級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火薬剤散布装置3基)を設置し、林野火災の消火及び大規模災害時の救助救急等に備えている。

3 火災・警戒出動概要

平成 28 年中の出動状況は 63 件の火災が発生し、車両延べ 451 台、職団員延べ 1,973 名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	2	18	5	23	59	39	98
2 月	2	17	3	20	62	25	87
3 月	5 (1)	14 (1)	2	16 (1)	53 (5)	21	74 (5)
4 月	11 (4)	61 (16)	17	78 (16)	208 (50)	122	330 (50)
5 月	9 (2)	58 (6)	14	72 (6)	219 (21)	122	341 (21)
6 月	4 (1)	21 (5)	7	28 (5)	65 (12)	58	123 (12)
7 月	1	13	3	16	45	19	64
8 月	4	25	5	30	82	40	122
9 月	8	47	13	60	168	83	251
10 月	9 (3)	31 (11)	6	37 (11)	95 (35)	64	159 (35)
11 月	3 (1)	18 (1)	6	24 (1)	75 (3)	56	131 (3)
12 月	5	37 (3)	10	47 (3)	123 (12)	70	193 (12)
合 計	63 (12)	360 (43)	91 0	451 (43)	1,254 (138)	719 0	1,973 (138)

※ () は、白糠町の内数

(2) 過去 5 年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 24 年	63(5)	375	80	455	1,460	770	2,230
平 成 25 年	66(7)	406	91	497	1,608	813	2,421
平 成 26 年	68(6)	345	78	423	1,215	626	1,841
平 成 27 年	64(5)	340	70	410	1,225	644	1,869
平 成 28 年	63(12)	360	91	451	1,254	719	1,973

※ () は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

分	年区	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	出 動 件 数		917	(102)	912	(104)	799	(93)	1,415	(123)	1,234
集 合 煙 突		2		2		3		4		2	
焚 き 火		7		6		1		1		1	(1)
電 柱				2		3		8	(1)	8	
異 常 燃 焼		11	(1)	9		6		7		3	
油 関 係		106	(9)	112	(8)	124	(7)	123	(5)	140	(2)
ガ ス 関 係		6		6		4		3		8	
自 火 報		95		65	(2)	58	(1)	63		90	(2)
漏 電 警 報 器		3	(1)	2		1		0		1	
非 常 警 報		12		8		7		5		4	
緊 急 ボ タ ン		17	(2)	18	(3)	25	(4)	25	(3)	13	(1)
危 険 排 除		174	(14)	255	(18)	137	(6)	720	(47)	398	(55)
そ の 他		484	(75)	427	(73)	430	(75)	456	(67)	566	(63)
出 動 台 数		1,686	(204)	1,693	(203)	1,810	(203)	2,623	(262)	2,546	(219)
出 動 人 員		7,057	(797)	7,080	(757)	7,318	(728)	10,491	(942)	9,804	(781)

※ () は、白糠町の内数

4 救助出動概要

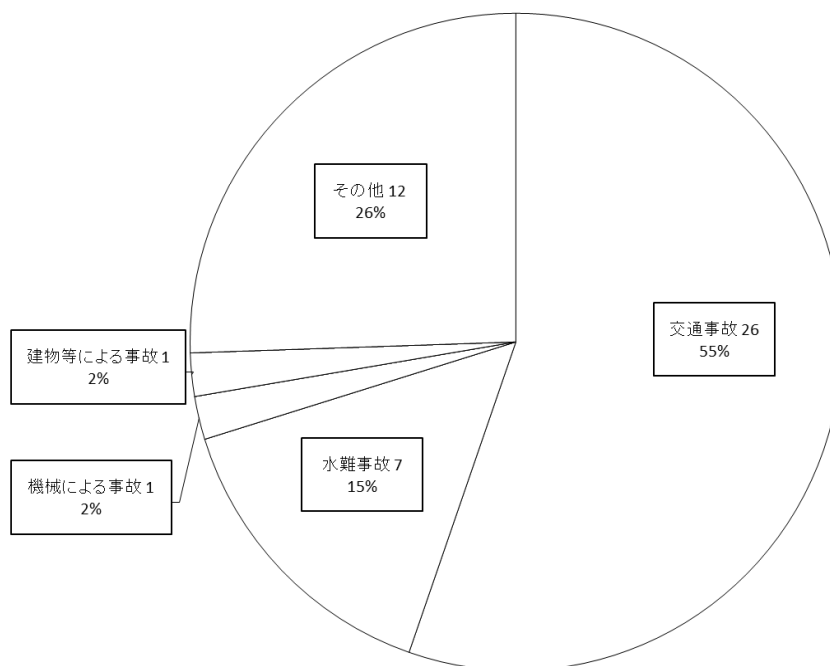
平成28年中の救助出動は47件発生し、車両延べ245台、人員延べ983名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

分	年区	平成27年				平成28年			
		出動件数		救助人員		出動件数		救助人員	
出	動	61	(5)	59	(7)	47	(2)	78	(4)
	交 通 事 故	27	(3)	35	(5)	26	(1)	59	(3)
	水 難 事 故	18	(1)	11	(1)	7		2	
	自 然 災 害								
	機 械 に よ る 事 故	2		2		1	(1)	1	(1)
	ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故	2		1					
	建 物 等 に よ る 事 故					1		4	
	爆 発 事 故								
	そ の 他	12	(1)	10	(1)	12		12	
出	動	303		(22)		245		(9)	
出	動	1,164		(80)		983		(34)	

※ () は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	2	4	7	2	3	5	3	4	4	5	1	7	47
交 通 事 故		3	5	1	1	4		3	2	1	1	5	26
水 難 事 故			1		2	1	2	1					7
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故												1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													0
建 物 等 に よ る 事 故									1				1
爆 発 事 故													0
そ の 他	2	1	1	1			1		1	4		1	12
出 動 台 数	16	17	41	19	17	25	8	23	25	25	3	26	245
出 動 人 員	78	68	160	81	61	105	31	84	85	117	12	101	983
救 出 人 員	1	5	9	3	2	7	2	5	31	4	1	8	78

(4) 署々別救助出動状況

区分	署		合 計	
	中 央 消 防 署	西 消 防 署		
出 動 件 数	19	28	(2)	47 (2)
交 通 事 故	10	16	(1)	26 (1)
水 難 事 故	3	4		7
自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故		1	(1)	1 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故				
建 物 等 に よ る 事 故	1			1
爆 発 事 故				
そ の 他	5	7		12
出 動 台 数	109	136	(9)	245 (9)
出 動 人 員	421	562	(34)	983 (34)
救 出 人 員	45	33	(4)	78 (4)

※ () は、白糠町の内数

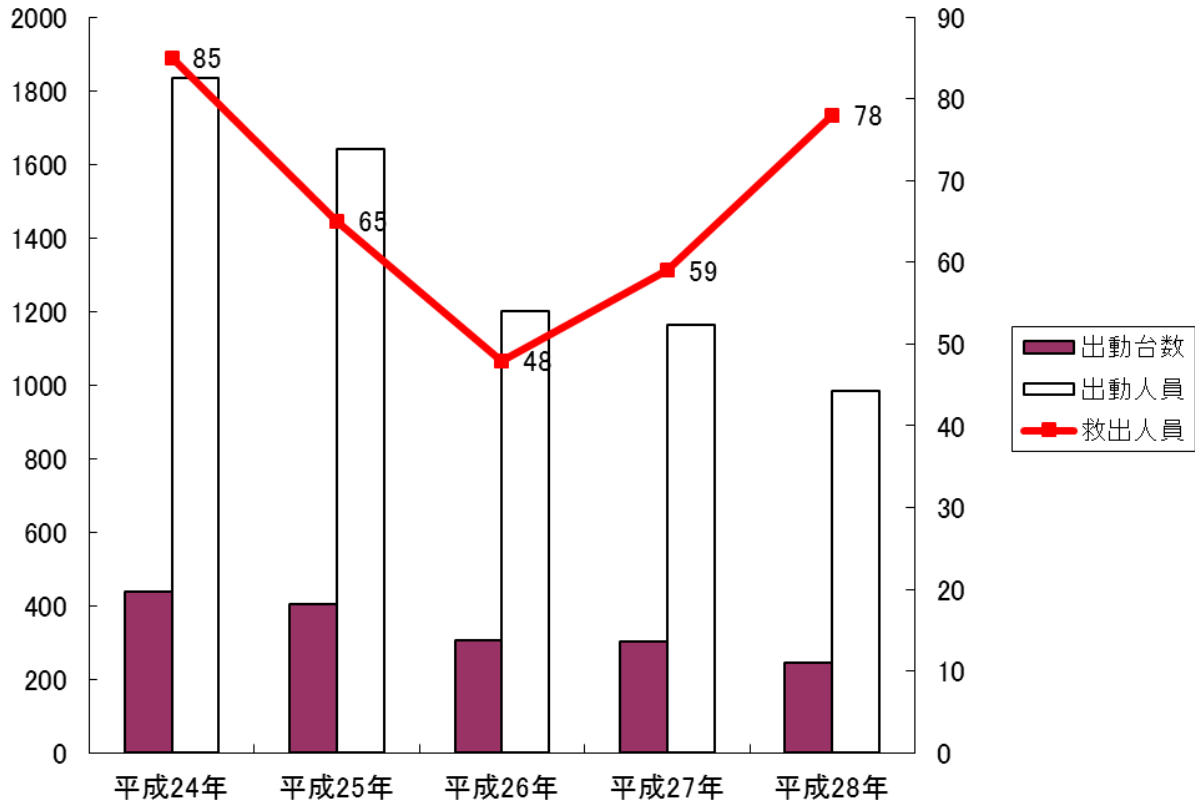
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
				()		()		()		()		()
出 動 件 数			87	(7)	72	(5)	56	(4)	61	(5)	47	(2)
	交 通 事 故		45	(4)	25	(4)	25	(3)	27	(3)	26	(1)
	水 難 事 故		26	(3)	24	(1)	19		18	(1)	7	
	自 然 災 害											
	機 械 に よ る 事 故		2		2		2	(1)	2		1	(1)
	ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故								2			
	建 物 等 に よ る 事 故				3		1				1	
	爆 発 事 故											
	そ の 他		14		18		9		12	(1)	12	
出 動 台 数			438	(33)	403	(19)	305	(15)	303	(22)	245	(9)
出 動 人 員			1,833	(137)	1,642	(78)	1,202	(67)	1,164	(80)	983	(34)
救 出 人 員			85	(13)	65	(3)	48	(7)	59	(7)	78	(4)

※ () は、白糠町の内数

出動台数
出動人員

救出人員



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

(1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	消防救急指令台	119回線	INS回線（一般・携帯・IP全て重畳）同時8回線	
	一斉指令・署所端末回線	31回線	音声指令15回線 指令電送15+1（大規模）回線	
	指令台用局線	2回線	INS回線、同時4回線	
	順次指令用局線	2回線	INS回線、同時4回線	
	IT情報端末装置	1回線	FTHH	
	一般	加入電話	27(2)回線	本部・署・分署・支署 1~12分団（INS回線・電話・FAX）
		災害情報自動案内	1回線	災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話	259(12)回線	本部・署・分署・支署 1~12分団（NTT専用線）
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	1回線	本部総務課

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等）

※ 白糠支署 DA128 回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

※ () 内は白糠支署内数

(2) 無線通信施設

区分・種別	施設数	適用		
無線設備	基地局 デジタル	5(1)局	20W（中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠町役場） →移動局、受令機の災害指令	
	簡易基地局	1局	10W（仁々志別小学校）→陸上移動局の通信	
	固定局	3局	東分署基地局用アプローチ回線	
	陸上移動局	卓上型	21(2)局	5W→署・支署11局、分団10局
		可搬型	2局	
		車載	97(16)局	
		携帯	117(18)局	
受令機	14(1)台	本部・各署・各支署		
その他	携帯電話	19(2)台	警防課2台、予防課1台、通信指令課1台、救急隊4台、阿寒支署1台、阿寒湖温泉支署2台、音別支署1台、白糠支署2台、市立病院1台、高速道路用4台	
	衛星携帯電話	5(1)台	警防課1台、救急隊4台（阿寒・阿寒湖温泉・音別・白糠支署に各1台）	

※ () 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		チャンネル			
緊急 通 信	一般	消防用	活動波 1	活動波 2	
		救急用	活動波 3	活動波 4	
	災害	情報用	活動波 5		
		指令用	活動波 6		
	大規模非常災害	消防用	活動波 1	活動波 2	活動波 3
		救急用	活動波 6	活動波 4	
情報用		活動波 5			

共通波	主運用波 4 (北海道波)	統制波 1 統制波 2 統制波 3
-----	------------------	-------------------------

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	79	828	33	8,504	6,430	15,874
	(10)	(65)	(4)	(359)	(225)	(663)
119FAX	0	0	0	1	0	1
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
加入電話受付	9	221	9	155	73	467
	(3)	(14)	(1)	(15)	(0)	(33)
警察電話受付	3	45	6	66	8	128
	(1)	(3)	(0)	(2)	(0)	(6)
無線受付	2	7	0	5	0	14
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
駆け付け通報	4	16	0	27	3	50
	(1)	(4)	(0)	(12)	(0)	(17)
その他	3	28	0	19	238	288
	(1)	(2)	(0)	(1)	(21)	(25)
合計	100	1,145	48	8,777	注 6,752	16,822
	(16)	(88)	(5)	(389)	(246)	(744)

※ 各項目下段 () 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	557	1,476	1,462	768	257	64	2,168	6,752

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

6 研修及び訓練実施状況（平成28年実績）

（1）研修

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本部研修	資格取得	大型自動車運転免許取得	10回	10人	
		無線従事者免許取得	1回	4人	
		潜水士資格取得	1回	2人	
	派遣	病院実習	救急救命士資格者	89回	52人
			消防学校	初任教育前期	98日間
		初任教育後期	98日間	7人	
		専科教育救急科	33日間	8人	
		専科教育火災調査科	12日間	1人	
		特別教育はしご自動車運用課程	5日間	1人	
		特別教育水難救助課程	5日間	1人	
		道MC関係教育気管挿管再認定講習	1日間	10人	
		道MC関係教育処置拡大2行為講習	6日間	8人	
		第23期救急救命士養成課程	127日間	1人	
	市職員研修	釧路市職員研修計画による	25日間	129人	
	新規採用職員研修	平成28年度採用職員	12日間	14人	
	専科研修	水難救助特別教育	1回	3人	
		予防課程	37回	69人	
特別研修	消防職員意見発表会	1回	7件		
	消防職団員研究発表会	1回	9件		
所属研修	係別研修	消防隊研修	中央消防署	302回	350時間
		西消防署	492回	539時間	
	救助隊研修	中央消防署	288回	354時間	
		西消防署	128回	145時間	
	救急隊研修	救急資格者研修	715回	872時間	

(2) 訓練

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
本部訓練	演習	春季消防演習	観閲	1回 26台/350人	
		秋季消防演習	慰霊祭・団競技大会	1回 26台/350人	
	各種訓練	救助隊員養成訓練	指定された隊員	20日間	11人
		消防活動技能訓練	指定された隊員	12日間	12人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	5月～7月	6人
		警防技術訓練	指定された隊員	13日間	57人
救急隊員訓練	指定された隊員	5日間	8人		
所属訓練	係別専科	中央消防署	1,079回	1,403時間	
		消防隊訓練	西消防署	1,990回	2,194時間
	救助隊訓練	中央消防署	1,269回	1,902時間	
		西消防署	438回	586時間	
	救急隊訓練	救急資格者訓練	1,102回	1,360時間	

(3) 消防団

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
研修訓練	資格取得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1回	5人	
		女性消防団員研修	1回	30人	
	特別研修	機関教養	13回	132人	
		予防教養	17回	600人	
		視察研修	消防団員技能競技大会視察	1回	13人
	鉏路市	消防団員基礎教育	1回	10人	
		北海道消防学校入校	消防団員幹部教育	2回	2人
		鉏路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	9ヶ分団	41人
	北海道消防協会 鉏路地方支部消防団員 技能競技大会		鉏路市(9月12日) ポンプ自動車・小型ポンプ	9ヶ分団	41人
	規律訓練	訓練礼式	62回	536人	
		防ぎよ訓練	競技訓練	119回	990人
			署・団合同訓練	4回	165人